



さん ない まる やま 三内丸山遺跡

青森市 約6,000年前～4,000年前
特別史跡指定／2000年



現在の大型掘立柱建物(復元)と大型たて穴住居(復元)



約2.8m積み重ねられた盛土



クルミが入っていた「縄文ポシェット」

日本最大級の集落跡

2,000年もの長期にわたり生活が営まれた日本最大規模のムラの跡で、たて穴住居、墓、掘立柱建物、盛土、貯蔵穴、道路などが計画的に配置されています。また、土器や土偶など、膨大な量の遺物が良好な状態で出土しました。

北陸産のヒスイが見つかるなど、他の地方との交流や交易があったこともわかっています。当時の北海道・北東北における中心地だったと考えられています。



出土した土偶は2,000点を超え、全国1位の出土数を誇ります。同じ形のものはなく、1つ1つが個性的な表情をしています。

Q&A

Q 大型掘立柱建物は
どれくらい大きいの？

A 出土した柱穴の直径は約2m、深さ2mを超える大型のもので、中から直径約1mのクリの柱が見つかりました。現存するクリの木の調査や柱が立っていた部分の土質分析から、高さ20m近くの大型の建物だったと考えられています。



大型掘立柱建物の柱穴(三内丸山遺跡)

Q どんなものを
食べていたの？

A 食料の約80%は植物質のものと考えられ、中でもクリやクルミが多く食べられていたようです。魚の骨はブリやサバなどを中心に約50種類出土しています。そのほとんどが現在も陸奥湾で獲れるものです。動物については全国的にはイノシシやシカが多いのですが、三内丸山遺跡ではノウサギやムササビなどの小動物が多かったようです。

関連展示施設

縄文時遊館



三内丸山遺跡の玄関口。国重要文化財の縄文ポシェットや大型板状土偶などを収蔵展示した「さんまるミュージアム」のほか、縄文シアターや体験工房などがあります。

ここに
注目！

当時の環境や食生活など、人々の暮らしがわかる出土品を数多く展示しています。

開館日時 6月～9月／9時～18時(10月～5月／17時まで) 年末年始休館

入館料 無料

住所 青森市三内丸山305

電話 017-781-6078



【遺跡に関するお問い合わせ】
青森県教育庁文化財保護課
TEL 017-781-6078